B
23

奈良県集成材協同組合

「集成材」認知・知名度向上の為の展示会活用施策

住　所	〒633−0048　奈良県桜井市大字生田686番地		
電話番号	0744−46−3222	U R L	http://www.gltnara.or.jp/
設　立	昭和56年6月	出 資 金	1,700千円
主な業種	造作用集成材生産業	組 合 員	17人

■背景と目的

強度や品質が安定している人工木材の「集成材」は木造建築等に使用されているが、近年、木材建築や和室の需要が減少しており、更に「集成材」自体の認知も浸透していない実情もある。このような閉塞状況を改善し「集成材」の商品価値を明確にアピールし、新たな販路拡大・市場開拓への突破口とするため、当該事業に取り組んでいる。

■事業・活動の内容と手法

近年の市場状況を鑑み、新たな販路拡大・市場開拓を行う上でエンドユーザーに対する「集成材」認知度向上施策として、ショッピングモールにおける「奈良の森と木と家のフェスタ」に出展。他の木工関連業者と共同でショッピングモールのイベントスペースにて「集成材」を使用した住宅構造模型等を展示。モールに木造の家を建てることでインパクトもあり、集客につなげることができたことで多くエンドユーザーに木の住居の良さをアピールすることができた。

また、金融機関主催のビジネスマッチングフェアにも出展。ブースにおいて、木材現場の職人が「集成材」の説明員として常駐。更にサンプルを展示し、組合及び「集成材」のＰＲを行った。結果、多種多様な業者とのビジネスマッチングにより、同業種の業者には「集成材」の付加価値を、また異業種の業者には認知度を向上させることにより、販路開拓を行った。Ｂ to Ｃ、Ｂ to Ｂ両軸において、効果的なＰＲを行うことで「集成材」の生産総量を上げていくことを目的に当該事業を推進している。

■成果

展示会出展をきっかけに、ＰＲ事業を積極的に受け入れる土壌ができ、組合単独の展示会も開催することになった。今後は更に積極的に出展してマッチングを増やすことで、販路・市場開拓の手段とするだけではなく、様々な企業と取引ができるように各組合員の意識を向上させていくツールとして展示会を活用していく予定である。

▲イオンモール橿原「奈良の森と木と家のフェスタ」

＜ナント＞ものづくり元気企業　マッチングフェア 2016 ▼

商品のＰＲ事業は、すぐに結果が出ないので時間がかかる。継続するには組合員への意識付けが必要となるが、当該事業により組合員の意識が向上し、ベクトルを合わせることができた。